

「介護労働者アンケート調査」結果<概要>

調査の目的

- 福岡市内の介護労働者の実態については、厚生労働省が実施する全国調査（「介護労働実態調査（うち労働者調査）」）により県単位の状況は分かるが、市の実態は把握できていない。そこで、市内の介護労働者の実態を明らかにすることを目的として本調査を実施した。

実施概要

- 市内・近郊で実施された集合研修等（計18か所）において調査票を配布し（基本的に） その場で回答を回収

実施手法	
対象者	福岡市内の介護事業所等に勤務している方
回答数	841件
実施期間	平成30年6月7日～10月23日

※十分な精度のサンプルが取れたものから抜粋

回答者の属性

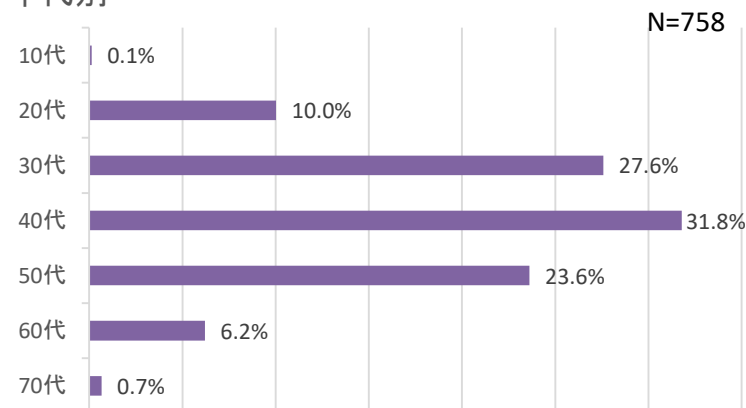
▼職種

	人数	構成比(%)
介護職員	365	43.4%
介護支援専門員	210	25.0%
看護職員	76	9.0%
生活相談員	57	6.8%
訪問介護員	34	4.0%
サービス提供責任者	21	2.5%
PT・OT・ST等	20	2.4%
その他	49	5.8%
無回答	9	1.1%
合計	841	100.0%

▼平均年齢

43.4歳

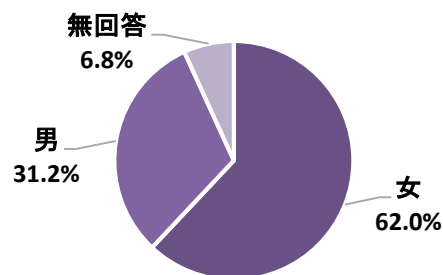
年代別



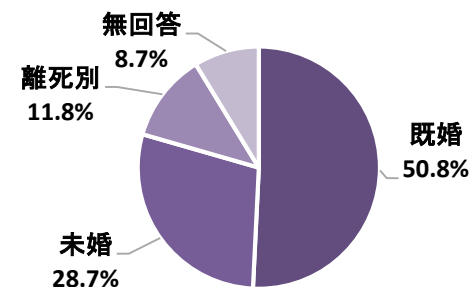
▼仕事の経験年数(平均)

8年10.8か月

▼性別

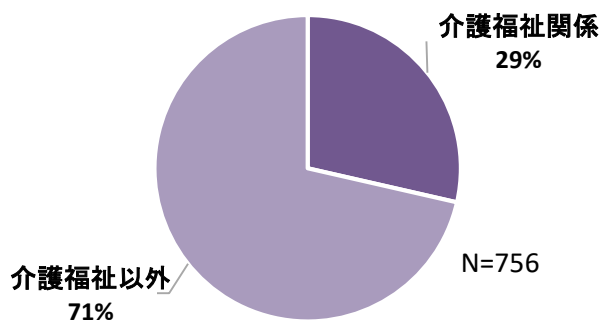


▼配偶関係

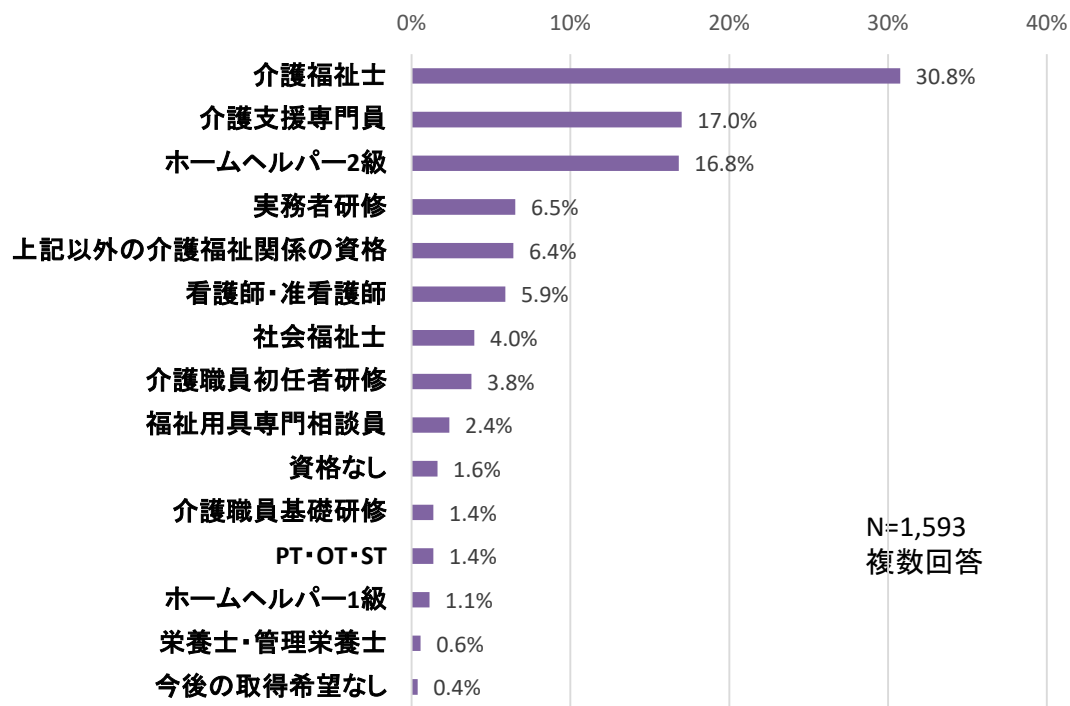


回答者の属性(2)

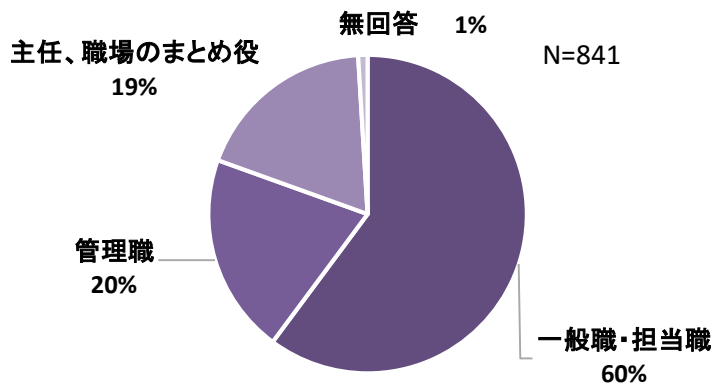
▼最終学歴(学科別)



▼現在持っている資格等

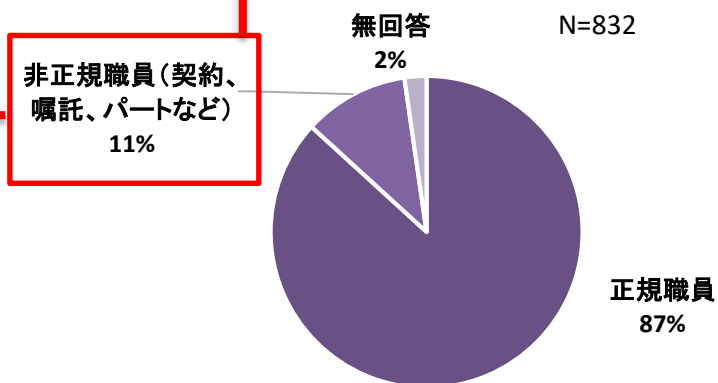


▼現在の職位

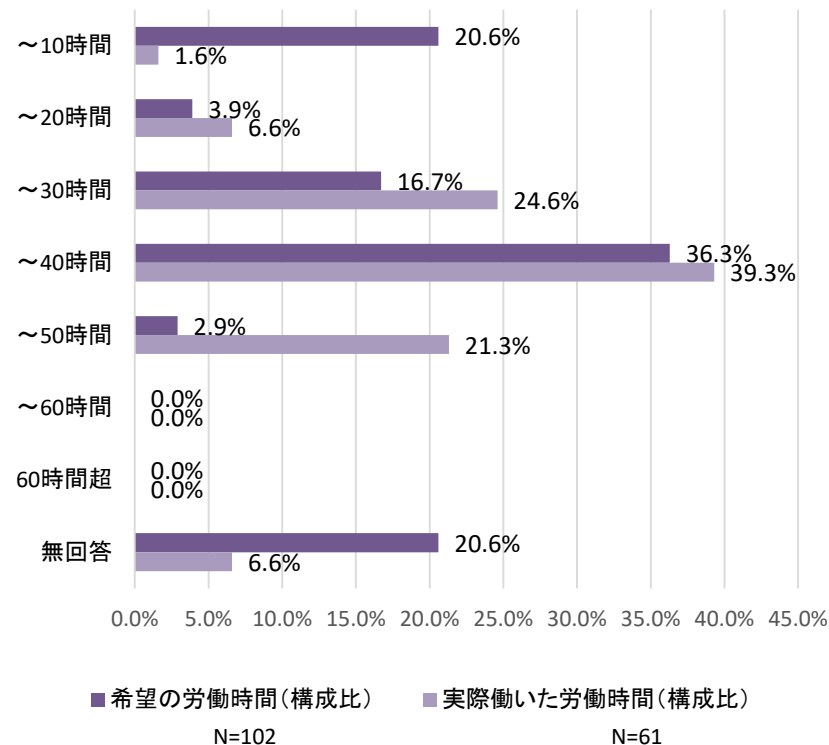


回答者の属性(3) 就業形態

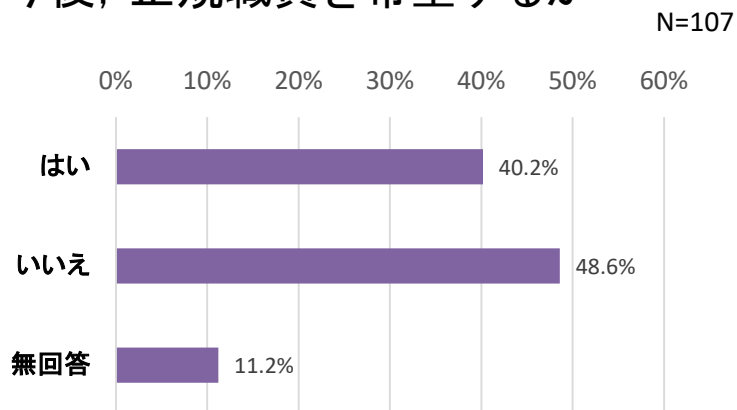
▼就業形態



▼非正規職員について、希望する一週間あたりの労働時間と実際に働いた時間数

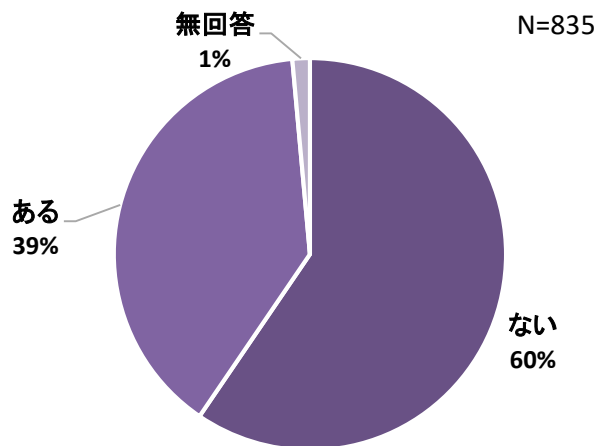


▼今後、正規職員を希望するか

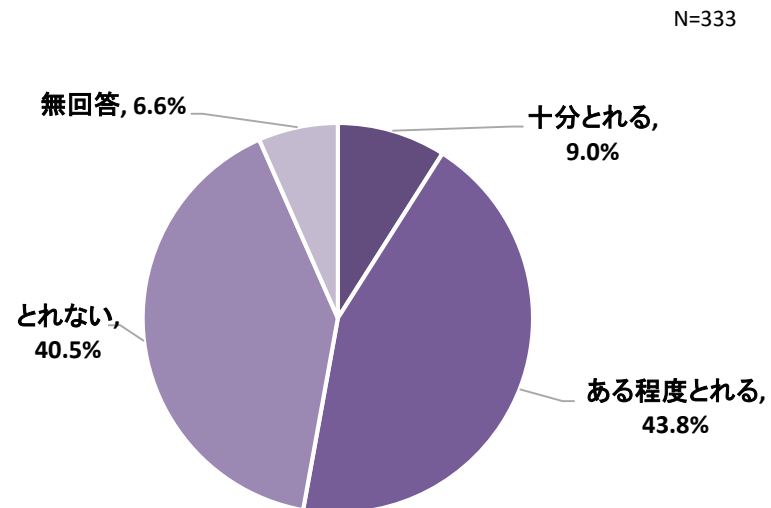


回答者の属性(4) 就業形態

▼深夜勤務の有無

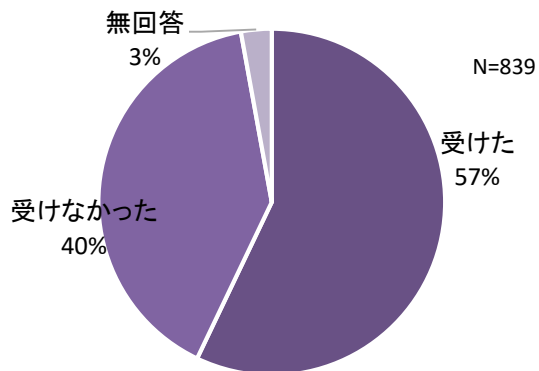


▼仮眠や休憩はとれるか

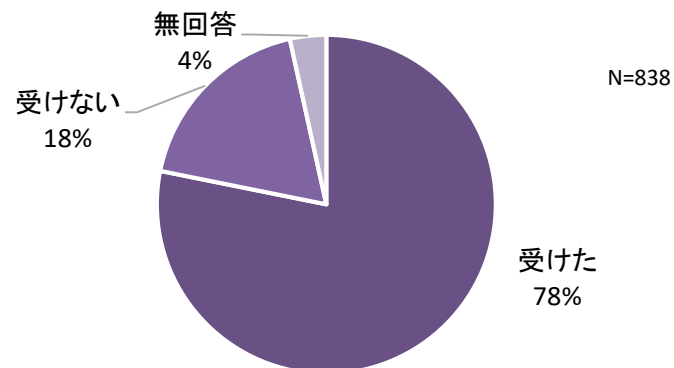


能力開発について

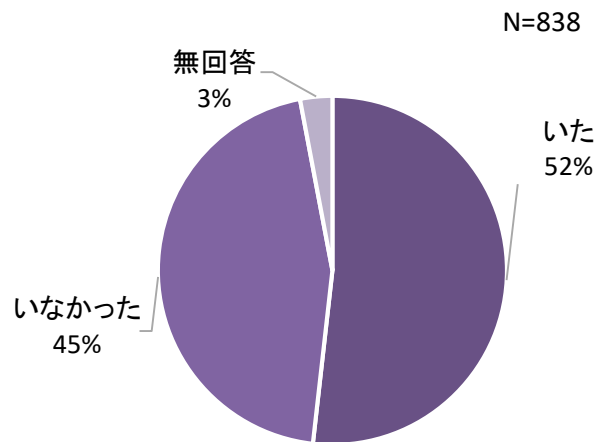
▼今の法人に採用時の研修受講の有無



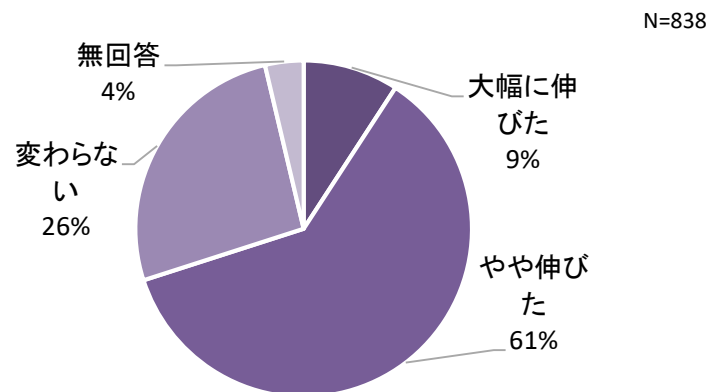
▼職場外での研修・講習会の参加の有無



▼採用後の担当指導者の有無

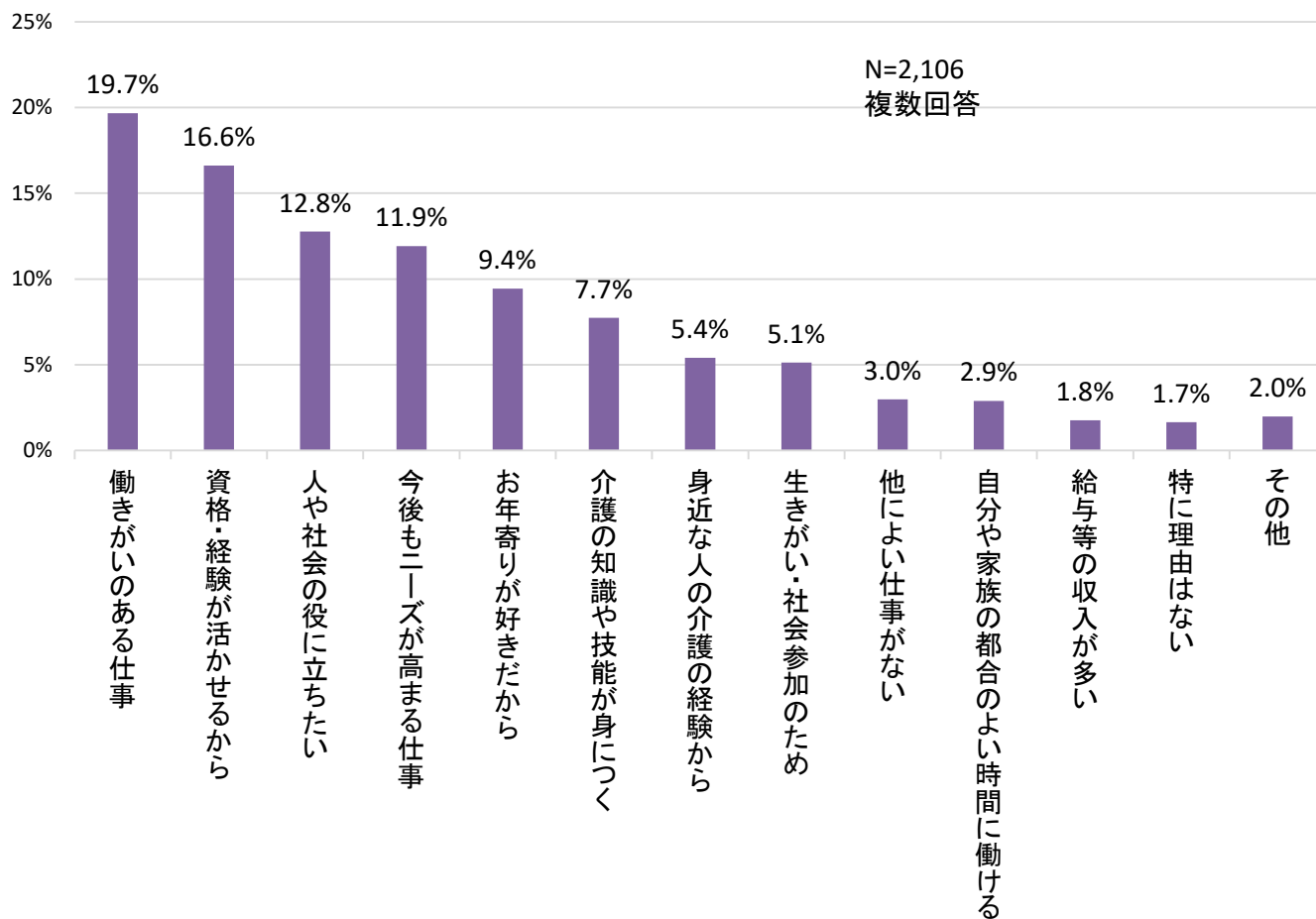


▼1年前と比べて仕事上の能力が高まったか



現在の仕事を選んだ理由

- 「働きがいのある仕事」の割合が最も高い。

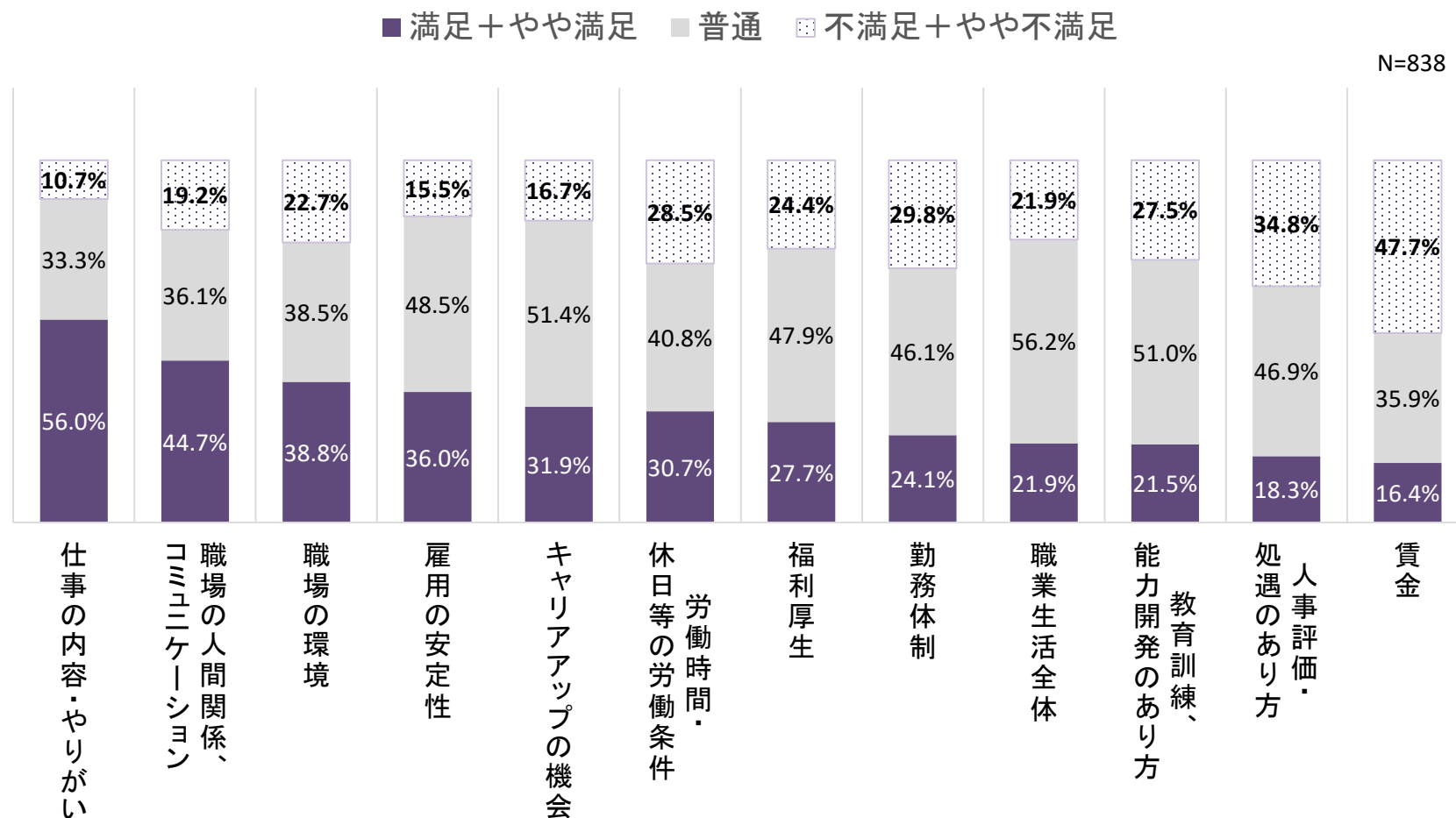


「その他」の内訳

- ・自宅から近い
 - ・友人に誘われた、紹介
 - ・法人への関心
- など

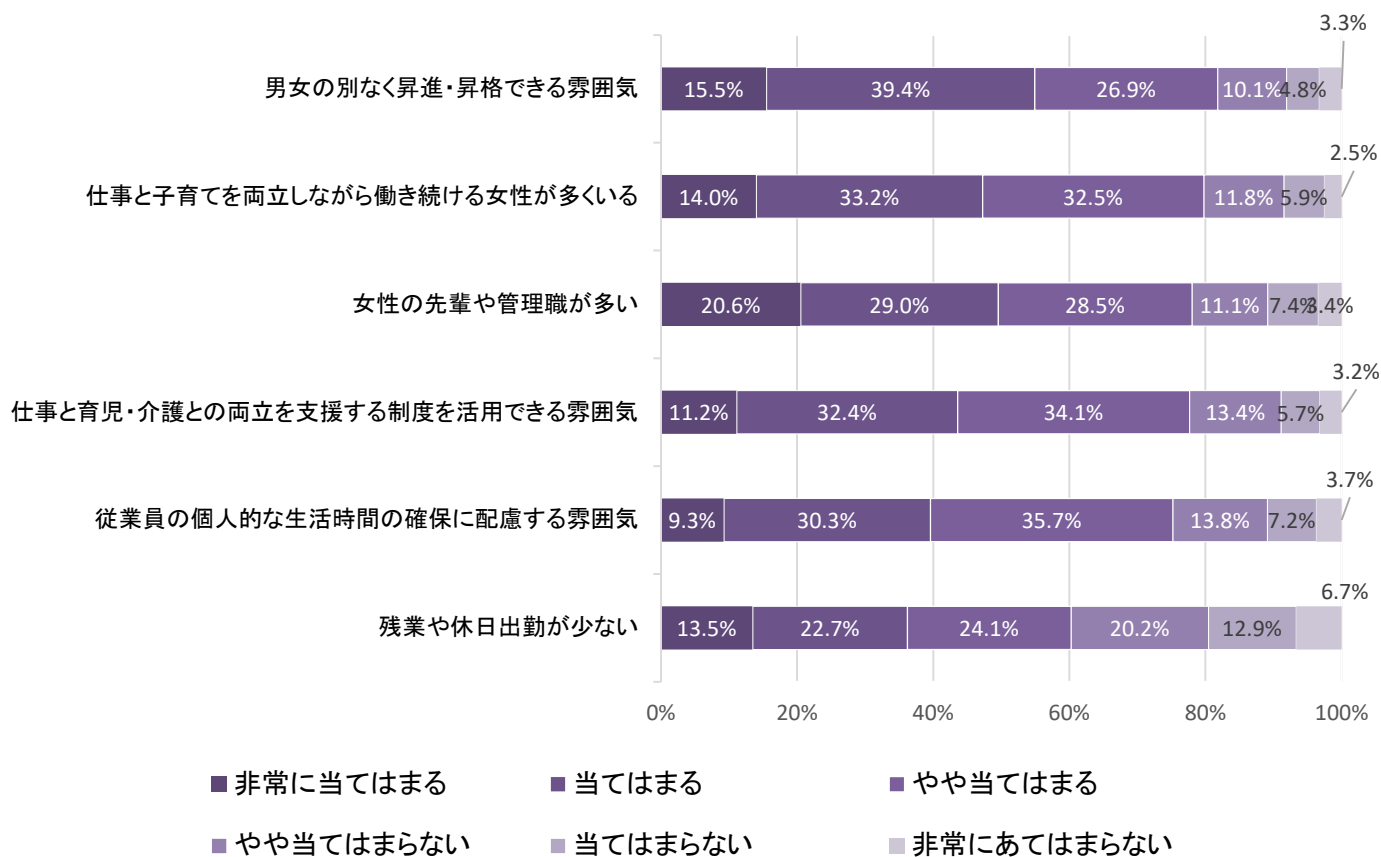
現在の仕事の満足度について

- 「仕事の内容・やりがい」に満足を感じる割合が最も高い。



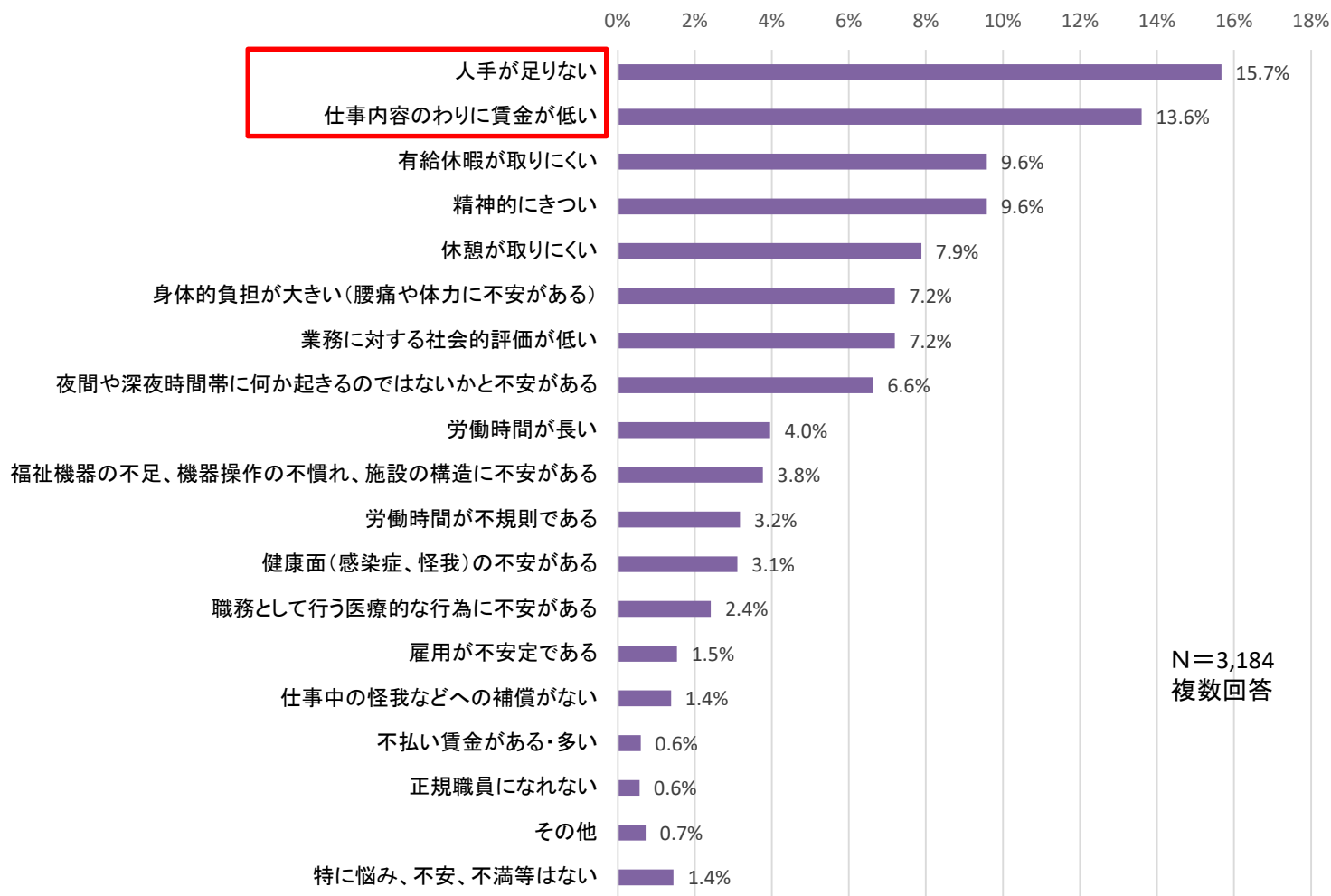
あなたの職場の特徴

- 「男女の別なく昇進・昇格できる雰囲気」, 「仕事と子育てを両立しながら働き続ける女性が多い」が上位を占める。



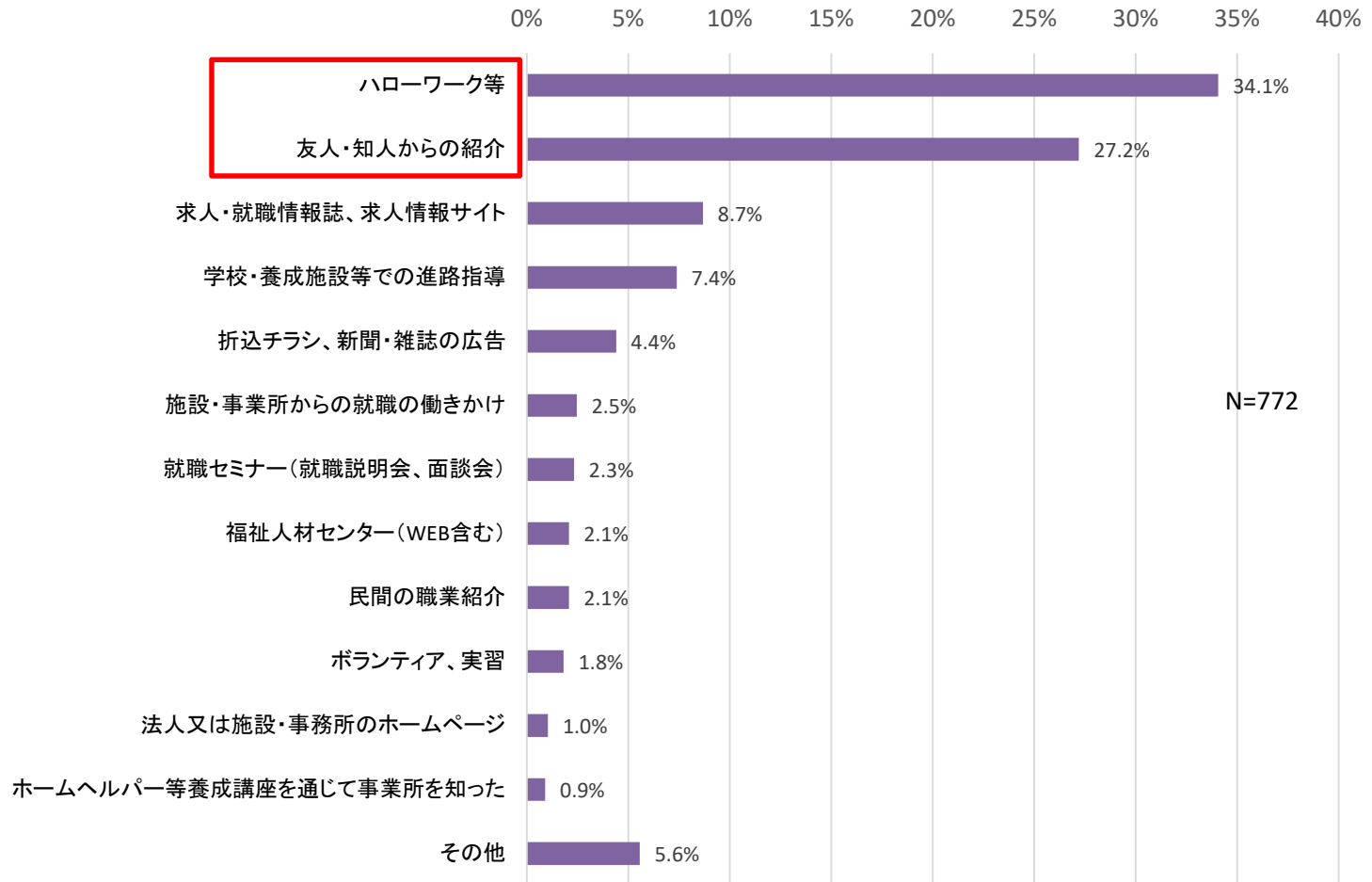
働く上での悩み、不安、不満等

●「人手が足りない」、「仕事内容のわりに賃金が低い」が上位を占める。



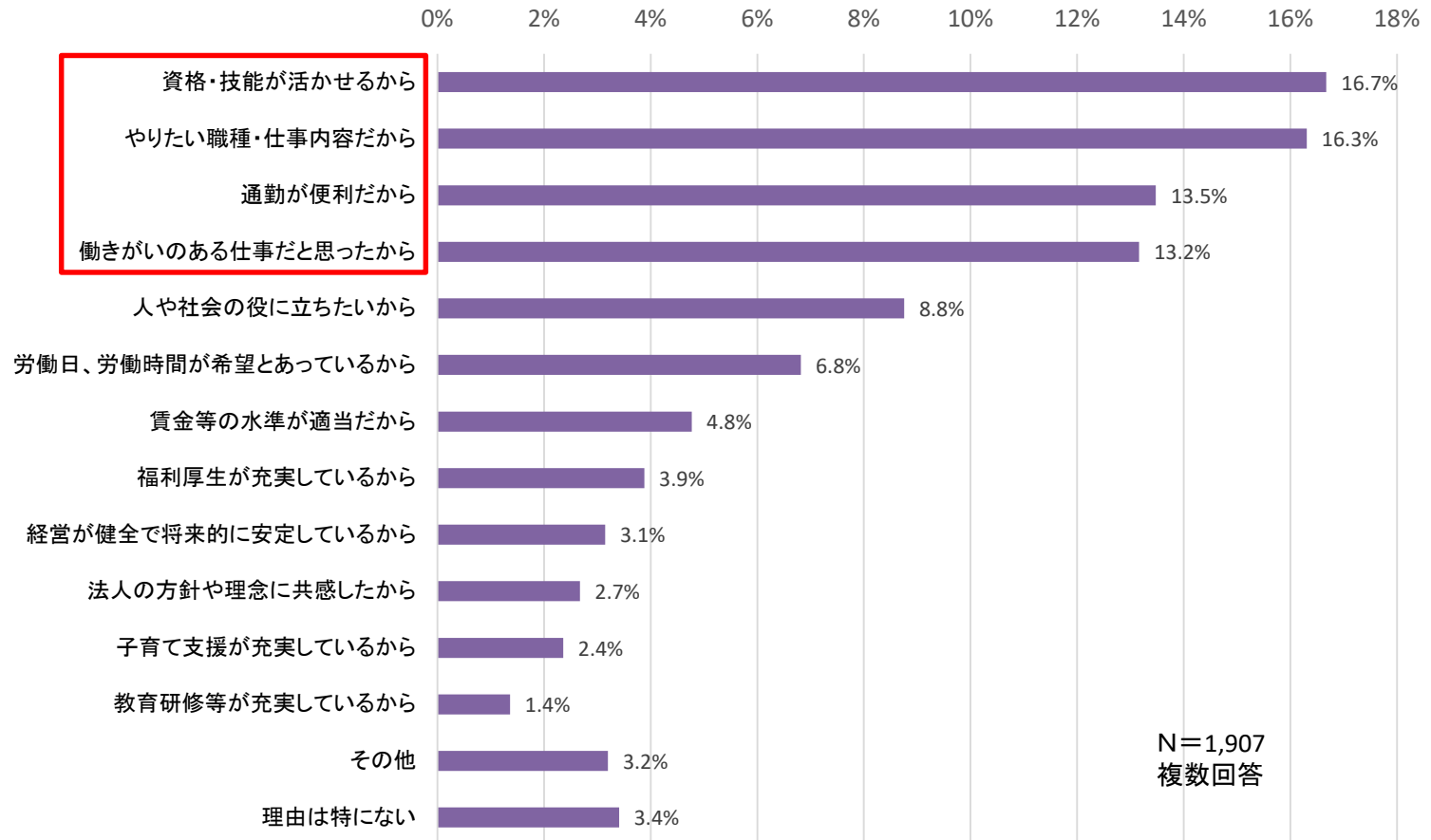
現在の法人に就職したきっかけ

- 「ハローワーク等」「友人・知人からの紹介」が上位を占める。



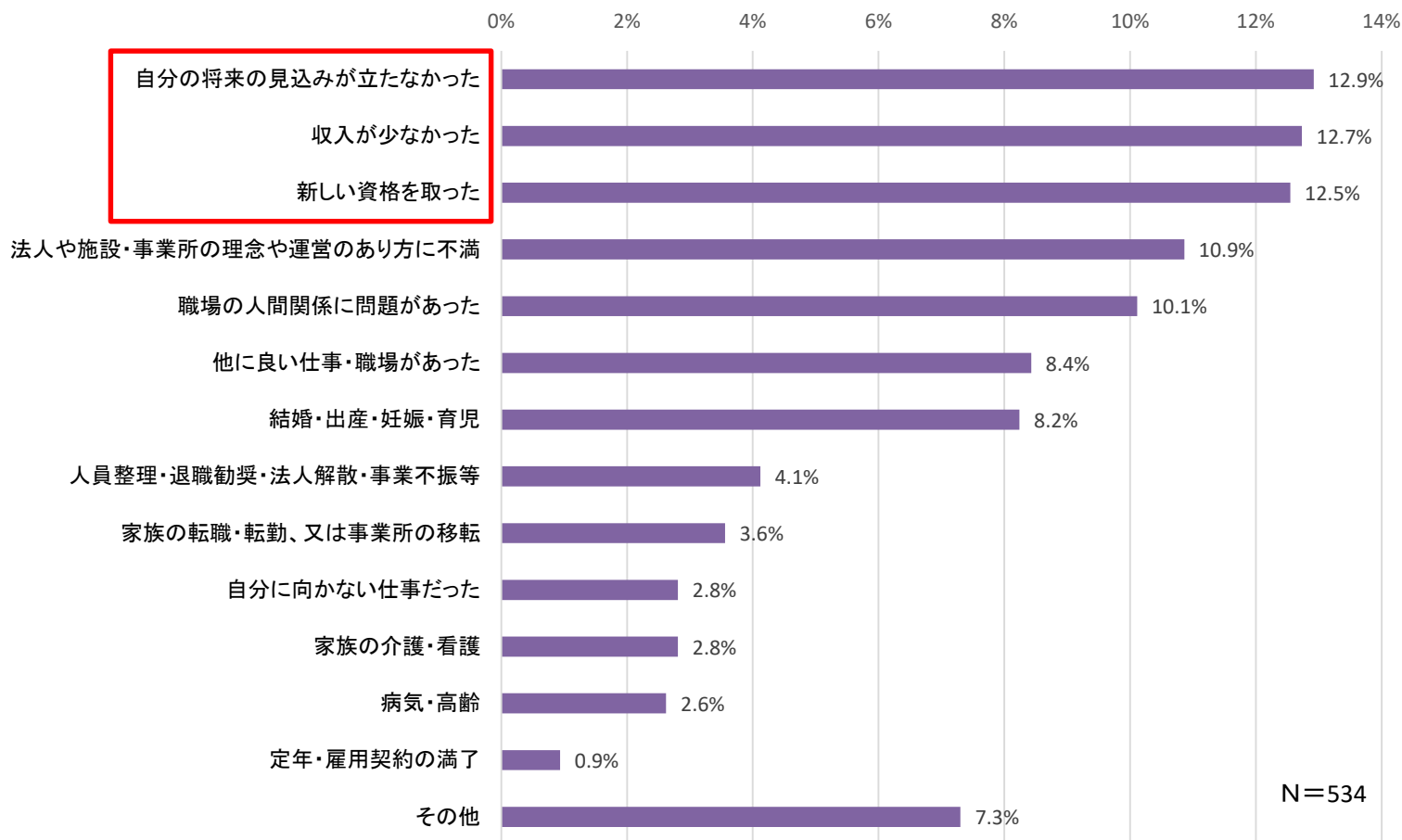
現在の法人に就職した理由

- 「資格・技能が活かせるから」「やりたい職種・仕事内容だから」「通勤が便利だから」「働がいのある仕事だと思ったから」が上位。



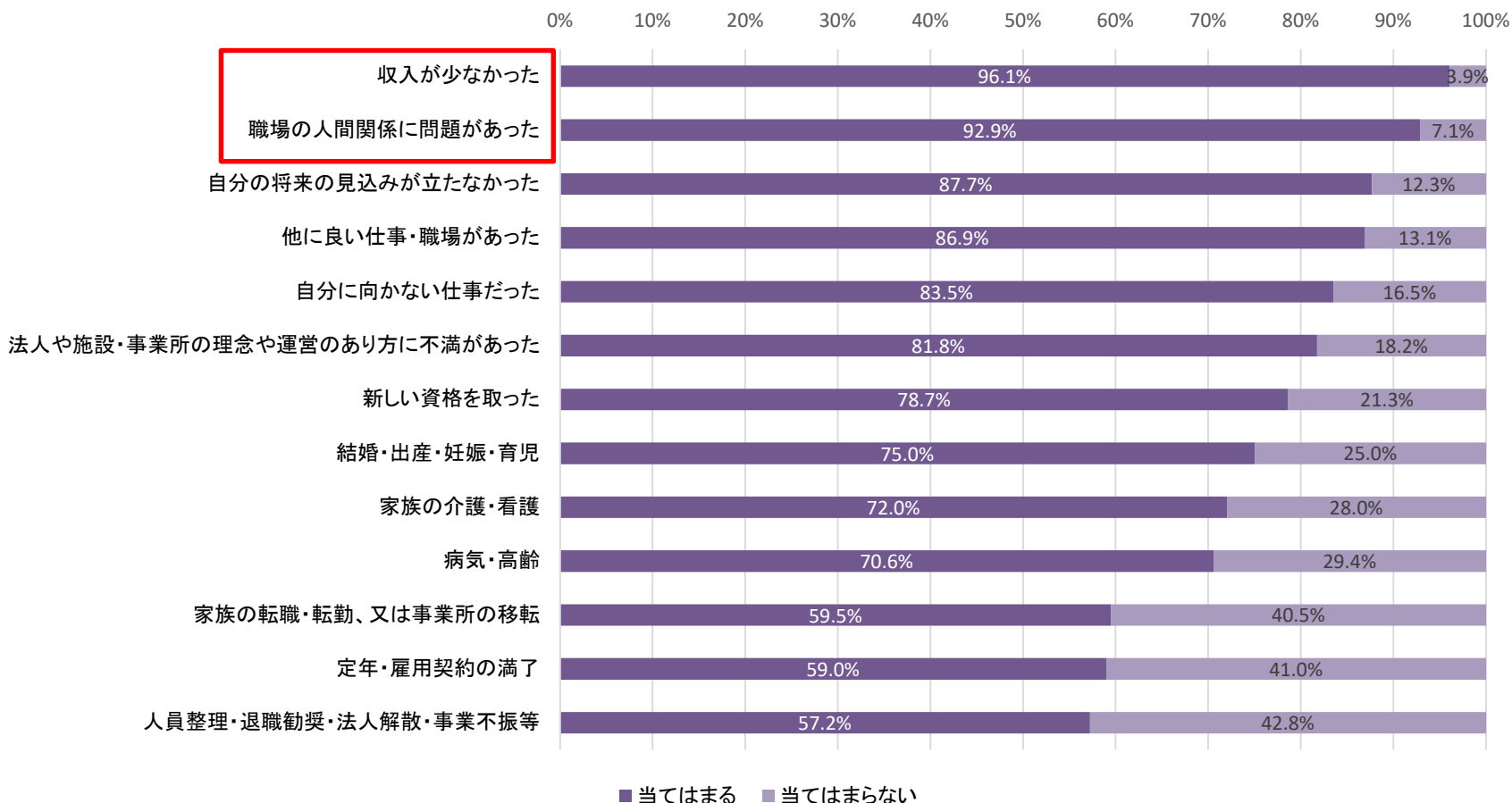
過去に介護の仕事辞めた理由

- 「自分の将来の見込みが立たなかった」、「収入が少なかった」「新しい資格を取った」が上位を占める。



介護職の離職率が高い理由(推測)

- 「介護職の離職率が高い」と言われるが、その理由として考えられる項目については、「収入が少なかった」が96.1%、「職場の人間関係に問題があった」が92.9%となっている。



※当てはまるは「非常に当てはまる」「当てはまる」「やや当てはまる」のいずれかに○をつけた人、
当てはまらないは「やや当てはまらない」「当てはまらない」「非常に当てはまらない」のいずれかに○をつけた人。